

英語科 学習指導案

公開学級 第2学年 3組 (30人)

場所 南舎3階 2年3組教室

授業者 橋場 一貴 Cedric Alexander (ALT)

1 単元名

Unit5 Universal Design

2 本時のねらい

「学校にあるといいなと思うユニバーサルデザイン」について伝えるために、発音、抑揚、ポーズ、アイコンタクトなどに気をつけて分かりやすくスピーチすることができる。

3 本時の展開 (12/13)

過程	学習内容	研究に関わる手立て
導入 動機づけ	<ol style="list-style-type: none"> Small Talk Do you know how to cook curry and rice? 既習表現を使って Small Talk を行う。 ・Yes, I do. I know how to cook curry and rice. It is difficult to cook. 前回の自分のスピーチの正解率と評価観点を見て、どうしたら自分のスピーチの表現力がレベルアップするか確認する。 ・相手に伝わるようにアイコンタクトを大切にしたい。 ・Teams の自分の評価から、誤発音が多いことがわかったので正しい発音ができるようになりたい。 個人練習を行う。 Teams の原稿にマークされている箇所を意識してスピーチ練習をする。 ・前回より点数が上がるように何回も練習しよう。 Teams に録音→正解率と評価観点を見て、現状を把握し、高めたいものを選び、個人課題を設定する。 	<p>研究内容 2-① “強い動機”を生み出す手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすいスピーチを伝えるには何が大切かを確認する。 「正しい発音、抑揚、ポーズ、アイコンタクト」確認した後は、まずは正しい発音を磨いていくことを全体で共有する。  <p>hktstm 正確性 表現</p> <p>109 1分毎の正解率 84% 正解率</p> <p>Do you know universal design spoon? If you have the spoon, you can eat steak, ramen and miso soup. You can eat many food because the shape is special. The spoon is very light. And the spoon head is small. Babies and old people can eat easily, too. Many students come to school and eat school lunch. Maybe some students are hard to eat food. I am sure that the spoon is very useful for students.</p>
展開 自己調整	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>①正しい発音ができるようにしたい →録画・ALT・タブレットで発音を調べる・Teams を使う</p> <p>②抑揚・ポーズを意識して相手に分かりやすく伝えたい →録画・ペア・ALT</p> <p>③相手意識（アイコンタクトや写真を示す）ができるようにしたい →録画・ペア</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>自分が立てた課題を追究して、スピーチの上達を目指そう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 個人課題を達成するための練習をする。 ・Teams の正解率を見て、まだ誤発音があるから改善したい。ALT に聞いてもらおう。 中間交流を行う。 個人課題の達成に向けて取り組んでいる仲間のよい姿を紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(抽出する仲間の姿 例)</p> <ol style="list-style-type: none"> タブレットの音声機能を使って何度も発音練習している姿やALT にたずねて粘り強く練習に取り組んでいる姿 抑揚をつけることを目指し、単語の中の強く読むところにマークを書き込んで取り組んでいる姿 </div>	<p>研究内容 2-② 自己調整するための手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人課題の達成を目指し、自分で練習方法を選んで取り組めるようにする。 <p>研究内容 2-③ 自己の変容を実感できるようにする手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> Teams を使って前時と本時のスピーチのスコアを見て変容を実感する。 同じペアにスピーチを聞いてもらってスピーチの伝え方で変わったところについてコメントをもらう。
終末 自己の変容を実感	<ol style="list-style-type: none"> 個人課題を達成するための練習をする。 ペア活動を行う。 前時に自分のスピーチを聞いてもらった仲間に聞いてもらう。そして、前時にやりとりした時と比べてどんな変容があったか感想を伝える。 ・Aさんは前回の時と比べて発音が良くなって聞きやすかったし、アイコンタクトや抑揚をつけてスラスラ話していて良かったです。 振り返る。 仲間の評価を受けて自分のスピーチがどのように変わったかを振り返る。生徒から変容があった仲間の紹介をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> Teams で出たスコアから目標を立てて正しく発音してスピーチすることができた。 個人課題を意識して取り組み、抑揚をつけて伝えることができた。 </div>	<p>評価規準 個人課題の達成に向けて発音、抑揚、ポーズ、アイコンタクトに気をつけてスピーチしている。 (思考・判断・表現)</p>

